

体力診断テストの総得点の判定と生活環境

亀田 富子

I. はじめに

昭和39年に東京で開催されたオリンピック大会より、体力づくりの重要性が叫ばれるようになった。また昭和41年に体育の日が10月10日と定められ、学校においても体力づくりが大きくかかげられるようになった。

文部省では昭和53年8月30日に高等学校学習指導要領が改訂され、昭和57年度から実施のはこびとなった。その改訂には、現在の生徒の運動不足による体力の伸びなやみの傾向や健康をめぐる諸問題に対処して、生徒の健康の増進と体力の向上を図り、心身の調和的な発達を促すことを強調した。

教育の原点に立った、知、徳、体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成することを目標にしていた。

文部省の集計している「体力・運動能力調査」から身長・体重は伸びているが、総合的な体力運動能力に関して昭和46年を境に横ばいになっている、特に背筋力・柔軟性の衰えが指摘されていた。

そこで本校は昭和46年から毎年実施している体力診断テストについて、如何に変わりつつあるか、17年間、記録を整理するたびに感じることは、幼・小・中学校で総合力の育成のもとに指導がなされているにもかかわらず、総得点の判定に低下の傾向が現れていることだった。それは学歴偏重の社会の風潮の中で親たちも学校も知育偏重により運動経験、運動量が少なくなっているのではなかろうか、総得点の判定による5グループのそれぞれが、どのような生活体験をしてきたのか、その生活体験が各グループにどのように影響しているかを調査し検討した。

II. 測定並びに調査の方法

1 健康診断

毎年入学式後新入生全員に対して実施

2 体力診断テスト

◦測定項目、方法

文部省の体力診断テストに準拠して実施

◦対象

昭和46年から昭和62年にわたる各年度の新入生女子全員（約45名）

◦測定時期

毎年本校入学後、第1回目の保健体育の授業にオリエンテーションをし、第2、3回目の体育授業時に測定を実施

3 生活環境調査

◦質問紙法

◦調査項目 別紙（P33～P37）の通り

。対象

昭和62年度の1学年から3学年の女子全員(139名)

。調査時期

昭和62年7月中旬

III. 結果と考察

1. 体格について(15才)

表I 昭和46年～昭和62年までの体格の年次的推移(全国・石川県・本校)

(女子)

年	身 長			体 重			胸 囲			座 高		
	全 国	石 川	本 校	全 国	石 川	本 校	全 国	石 川	本 校	全 国	石 川	本 校
46	155.4	155.4	156.0	50.6	50.6	49.8	80.4	79.7	79.4	84.8	84.2	84.5
47	155.3	155.6	157.3	50.8	51.4	50.3	80.6	81.2	80.1	84.7	84.6	84.9
48	155.7	156.0	158.4	49.8	51.4	52.3	79.1	81.0	81.2	84.8	84.8	85.7
49	155.6	156.4	156.6	50.8	51.5	49.8	80.7	80.8	79.5	84.9	84.7	84.0
50	155.8	156.4	157.4	50.7	51.4	51.1	80.7	80.6	81.5	84.9	85.0	85.0
51	156.5	156.6	156.5	50.5	51.7	50.7	80.1	81.3	80.7	84.2	84.8	84.9
52	156.1	156.4	157.1	51.0	51.8	51.1	80.6	81.1	79.6	84.9	84.9	84.8
53	156.1	156.9	157.4	51.0	51.5	49.9	80.6	81.5	79.7	84.9	84.7	84.1
54	156.2	157.1	156.7	51.3	52.3	50.1	80.8	81.1	79.7	85.0	85.4	83.6
55	156.6	156.8	157.6	51.4	51.3	50.5	80.7	81.0	79.5	84.9	84.9	83.5
56	156.6	157.2	159.1	51.7	52.7	51.6	80.9	81.5	79.7	85.0	85.4	84.3
57	156.6	157.3	158.6	51.7	51.9	51.6	81.0	80.7	79.6	85.0	85.6	84.7
58	156.9	158.0	157.7	51.7	52.6	50.8	81.0	81.5	80.7	85.1	85.8	85.0
59	156.8	157.6	157.4	51.8	52.8	50.0	81.1	81.6	78.9	85.0	85.2	85.2
60	157.0	157.7	158.4	51.9	52.7	51.4	81.3	81.6	80.6	85.1	85.6	86.2
61	157.1	157.8	158.8	52.1	52.9	50.8	81.4	81.6	79.5	85.1	85.7	86.0
62		157.4	157.4			50.2			80.1			85.5

◎体格についての考察

昭和46年から昭和62年までの17年間における年次的推移を全国・石川県の成績と比較すると表Iの通りである。

身長は毎年全国・石川県に比較して本校は長身であり、全国と石川県では石川県が長身である。

体重は殆ど全国・石川県に比較して本校は軽量であり、全国と石川県では石川県が体重はある。

胸囲は殆ど全国・石川県に比較して本校は少なく、全国と石川県では石川県がやや胸囲は大きい。

座高は昭和52年から昭和58年までは、全国・石川県に比較して本校は低いが、全国と石川県では石川県が高い、昭和59年からは全国・石川県に比較して本校は高くなっている。

本校の生徒は、長身で体重、胸囲が少なく都会型の長身軽量型に固まっている。

2. 体力診断テストについて (15才)

表II 昭和16年～昭和62年までの体力診断テストの年次の推移 (全国・石川県・本校)

(女子)

年	反復横とび		垂直とび		背筋力		握力		伏臥上体そらし		立位体前屈		踏み台昇降		総得点	
	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、
全国																
16石川	39.5	1.06	40.3	5.81	86.7	15.15	29.1	4.70	58.4	6.02	17.7	4.50	62.4	12.02		
本校	39.8	2.26	41.8	4.52	90.7	14.30	20.2	2.94	59.7	5.08	17.9	3.71	59.2	7.41	24.4	1.75
全国	37.8	1.75	41.5	6.04	83.6	16.66	29.3	4.97	58.1	6.81	17.0	4.83	59.5	10.40	24.6	
17石川	39.1	3.80	40.6	5.69	80.3	16.30	28.3	4.80	59.2	6.29	17.8	4.61	62.1	10.94		
本校	39.6	2.90	41.8	4.59	97.9	21.14	26.4	5.88	60.9	5.27	19.2	6.19	61.5	8.04	26.2	2.74
全国	38.3	3.83	42.8	6.03	79.7	16.67	28.6	4.52	58.7	6.63	17.0	4.93	60.1	10.60	24.7	
18石川	38.0	3.40	41.9	5.98	85.4	15.79	29.5	5.14	59.5	6.14	17.1	4.94	63.4	11.80		
本校	38.8	4.09	43.1	5.76	94.9	16.69	22.7	4.04	60.6	5.01	18.7	3.70	63.9	13.46	25.5	3.01
全国	38.2	4.03	43.8	6.61	80.0	16.70	29.7	4.56	61.1	6.89	16.7	5.08	60.8	10.87	25.3	
19石川	38.8	3.90	42.2	5.71	84.0	15.03	27.2	4.92	58.2	6.89	17.2	4.82	62.5	11.46		
本校	42.1	3.89	44.4	5.67	96.8	16.49	30.5	2.91	60.5	7.07	18.3	4.44	59.2	11.29	27.0	2.68
全国	38.3	3.90	42.8	5.94	75.7	16.26	29.2	4.57	58.0	6.94	16.1	4.70	59.8	10.33	24.4	
50石川	39.7	3.19	42.0	5.38	84.0	15.81	29.4	4.43	59.8	6.69	16.1	4.88	63.0	11.28		
本校	43.3	3.15	43.4	5.34	89.5	13.39	25.9	3.99	60.9	6.54	18.9	5.42	62.2	10.29	26.4	2.21
全国	39.2	3.74	43.8	5.91	78.9	17.07	28.3	4.90	58.1	7.30	16.3	4.77	60.5	11.41	24.8	
51石川	39.5	4.51	41.6	5.93	81.2	17.93	29.3	4.87	60.3	5.90	15.8	5.26	63.1	12.86		
本校	41.6	2.67	42.2	6.68	91.6	19.78	22.0	3.57	60.5	5.10	19.8	5.86	56.7	10.50	25.1	3.03
全国	38.5	3.98	43.1	6.05	76.3	16.43	28.4	4.49	57.2	7.41	16.2	5.18	60.8	10.05	25.2	
52石川	39.6	3.33	42.4	6.07	82.9	17.17	28.2	5.15	57.8	6.99	15.7	5.05	63.4	12.82		
本校	42.1	3.34	45.1	5.66	90.2	14.95	21.4	3.39	59.7	5.98	20.0	4.33	65.8	11.30	26.3	2.10
全国	39.5	4.23	43.2	6.27	78.0	17.79	29.1	4.66	56.7	7.11	15.7	5.01	62.1	11.36	25.4	
53石川	40.1	3.93	41.9	6.82	81.6	19.30	27.6	4.37	58.2	6.47	16.4	5.17	65.0	13.15		
本校	39.9	2.41	42.1	5.37	89.6	15.72	22.2	3.17	60.4	7.30	20.6	4.17	61.6	10.06	25.7	2.54
全国	38.1	3.91	42.7	6.00	74.6	16.64	28.0	4.70	57.1	6.83	15.4	5.19	62.1	11.62	24.5	
54石川	40.0	4.02	42.6	6.08	82.1	17.68	28.2	4.63	58.7	7.09	16.5	5.10	65.6	13.17		
本校	40.8	2.42	40.4	5.28	92.3	15.39	21.2	3.98	56.7	6.79	18.3	4.88	65.0	12.17	25.5	2.89
全国	39.1	3.95	44.1	6.52	77.1	17.43	28.6	1.74	56.7	7.29	15.7	5.38	62.2	11.13	24.9	
55石川	40.7	3.96	43.4	6.51	86.0	19.84	29.7	5.09	58.2	7.18	16.8	5.50	65.3	13.22		
本校	40.0	2.52	41.6	6.60	88.8	17.71	27.1	3.46	59.7	5.19	19.6	4.94	61.9	9.79	25.6	2.68
全国	39.7	1.30	44.3	6.74	77.8	18.65	29.0	4.58	57.6	7.57	14.9	5.18	62.9	11.28	25.1	
56石川	39.8	3.95	44.2	6.52	75.4	20.77	29.7	4.12	58.4	7.12	15.9	7.17	65.2	11.87		
本校	39.4	3.08	43.2	4.34	86.9	17.13	28.1	3.89	58.4	5.76	18.2	5.90	66.0	12.97	25.9	3.27
全国	38.8	4.09	43.7	6.68	78.5	19.30	28.5	5.05	56.2	7.03	15.1	5.57	64.2	12.12	24.9	
57石川	39.3	3.74	44.0	7.02	80.9	19.58	28.1	3.92	57.5	7.38	15.9	5.86	69.0	12.58		
本校	41.4	2.59	38.8	4.80	83.7	18.00	27.5	3.25	56.4	5.98	15.5	3.85	57.3	8.36	24.0	2.35

年	反復横とび		垂直とび		背筋力		握力		伏臥上体そらし		立位体前屈		踏み台昇降		総得点	
	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、	\bar{X}	S、D、
全国	39.0	4.33	43.6	6.40	77.9	17.45	28.0	4.51	56.0	7.29	15.2	5.32	65.1	11.60	24.4	
58石川	40.5	3.97	44.1	6.78	82.8	18.06	28.6	4.48	56.7	7.41	15.4	5.71	66.4	13.08		
本校	41.5	3.34	43.9	5.43	95.1	19.20	28.1	3.49	57.0	5.49	16.5	3.97	67.7	13.93	26.4	2.47
全国	38.2	4.63	42.3	6.19	76.2	19.01	27.5	4.89	55.2	7.66	14.7	5.44	62.3	11.11	23.8	
59石川	40.3	4.37	42.1	6.27	81.6	18.30	28.1	4.21	56.0	7.86	14.7	5.72	68.1	12.57		
本校	39.0	3.55	42.1	5.62	83.4	18.86	28.4	3.17	59.3	6.94	18.0	4.56	62.7	11.41	25.5	2.71
全国	39.8	3.89	44.4	6.33	79.5	19.31	28.0	4.78	56.2	7.56	14.8	5.32	64.4	11.78	24.9	
60石川	39.5	3.76	42.8	6.64	81.5	19.55	28.8	5.40	56.8	6.67	15.0	6.50	65.3	12.13		
本校	39.9	4.04	42.1	5.76	91.0	19.68	27.1	4.28	62.0	6.45	17.3	8.51	61.1	10.55	25.8	2.97
全国																
61石川	39.4	3.69	42.3	5.56	78.1	18.00	27.8	4.56	55.4	7.68	13.3	6.38	68.3	12.26		
本校	40.2	2.78	43.1	4.98	69.7	24.20	25.9	3.75	61.2	8.83	16.4	5.98	59.3	8.41	24.6	2.79
全国																
62石川																
本校	38.2	3.55	42.6	5.82	76.0	21.50	24.3	3.74	58.6	7.11	15.9	5.07	62.2	9.57	23.9	2.94

◎体力診断テストの種目別の考察

昭和46年から昭和62年までの17年間に於ける年次的推移を全国・石川県の成績と比較すると表IIの通りである。

a. 反復横とび

本校の反復横とびの平均値は、全国平均値・石川県平均値に比較して高い結果が出ている。なかでも昭和49年から昭和52年までが特に高い結果が出ている。昭和49年以後、年次的に少しずつ低下傾向になっている。石川県の平均値は全国平均値よりも高く、年次的にはあまり変わらず横ばい状態である。全国の平均値は本校・石川県に比較して毎年低く、年次的にみると横ばい状態である。

b. 垂直とび

本校の垂直とびは昭和46年から昭和50年までの間は石川県・全国の平均値よりも高かったが、昭和54年から昭和57年までは全国・石川県の平均値よりぐっと低下している。石川県の平均値は全国の平均値よりも毎年低く、年次的にみると、やや上昇している。全国平均値は石川県の平均値よりも高く、年次的変化は横ばい状態である。

c. 背筋力

本校の平均値は、全国・石川県平均値よりもぐっと高く、年次的平均値を比較するとだんだん低下している。とくに昭和61年には急に低下していたが、昭和62年には上昇した。石川県の平均値は全国平均値よりも高く、本校よりも低い。石川県の年次的変化をみると、本校と同じく低下の傾向にある。全国の平均値は本校・石川県よりも低い、昭和47年から昭和54年までは低下の傾向にあったが、昭和55年より上昇傾向になっている。

d. 握力

本校は全国・石川県の平均値に比較して大変低い、特に昭和46年から昭和48年・昭和50年から昭和57年は極めて低い値を示している。全国・石川県の平均値はあまり変化はないが、

年次的変化をみると、ほんの少し低下傾向を示している。

e. 伏臥上体そらし

本校の平均値は、全国・石川県の平均値よりも少し高い、昭和59年より非常に高くなっている。しかし昭和46年から昭和57年までは低下傾向にあった。石川県の平均値は全国の平均値よりも高い。年次的変化をみると、だんだん低下している。全国の平均値は、本校・石川県よりも低く、年次的変化をみると石川県と同様にだんだん低下している。

f. 立位体前屈

本校の平均値は、全国・石川県よりだいぶ高い値を示している。年次的変化をみると、低下傾向にある。石川県の平均値は全国よりもやや高いが、年次的変化をみると低下傾向を示している。全国の平均値は本校・石川県よりも低く、年次的変化をみると低下傾向を示している。

g. 踏み台昇降運動

本校の平均値は、高低の差が激しく、昭和51年と昭和57年は極端に低い値を示している。石川県の平均値は全国・本校よりも高く、だんだん上昇傾向にある。全国の平均値は石川県よりひくい、だんだん上昇傾向にある。

上記をまとめると、本校は石川県・全国に比較して高い値を示しているのは、反復横とび、垂直とび、背筋力、伏臥上体そらし、立位体前屈であり、握力はいつも低い値を示している。下降傾向にあるのは反復横とび、背筋力、伏臥上体そらし、立位体前屈である。

石川県は中位を示しているのが、反復横とび、背筋力、伏臥上体そらし、立位体前屈であり、踏み台昇降運動は高い値を示している。踏み台昇降運動はまだまだ上昇傾向を示している。下降傾向を示すのは、背筋力、伏臥上体そらし、立位体前屈である。

全国はいつも低い値をしめしている。それは、反復横とび、背筋力、伏臥上体そらし、立位体前屈、踏み台昇降運動である。背筋力、踏み台昇降運動は上昇傾向になっている。下降傾向になっているのは、伏臥上体そらし、立位体前屈である。

一般的にまとめてみると、敏捷性（反復横とび）、瞬発力（垂直とび）は年次的に大きな変化もなく横ばい状態であるが、筋力（背筋力、握力）、柔軟性（伏臥上体そらし、立位体前屈）の4種目は年次的にみると下降きみである。ただし持久力（踏み台昇降運動）は上昇傾向を示している。

3. 体力診断テストの種目別の判定について

表Ⅲ 昭和46年～昭和62年までの体力診断テストの種目別判定の年次的推移

(女子)

種目	年	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
	人数	40	43	37	36	42	33	31	44	41	45	50	46	42	42	50	43	46
反復横跳び	5	11	16	13	22	32	21	22	20	23	17	18	32	25	15	22	18	13
	4	29	24	15	13	10	12	8	23	17	24	27	13	15	20	24	24	22
	3		3	9	1			1	1	1	4	5	1	2	7	3	1	11
	2															1		
	1																	
垂直とび	5	13	15	17	21	18	12	17	18	8	13	27	5	24	13	19	16	18
	4	19	22	15	10	20	12	12	17	21	18	17	27	14	23	19	20	19
	3	8	6	5	5	3	9	2	8	11	13	6	10	4	5	12	7	8
	2					1			1	1	1		3		1			1
	1												1					
背筋力	5	3	14	3	7	4	7	4	5	7	6	5	4	8	4	10	4	3
	4	22	12	22	20	18	10	14	18	16	16	18	16	19	11	17	11	7
	3	14	16	11	8	19	13	11	19	17	20	22	16	14	20	18	11	22
	2	1	1	1	1	1	3	2	2	1	3	5	10	1	6	5	10	10
	1														1		7	4
握力	5		3															
	4		11		20	7	1		1	5	7	12	11	13	13	8	6	3
	3	8	14	19	16	24	8	7	15	27	30	30	29	24	27	34	28	21
	2	28	14	16		11	24	22	27	8	8	8	6	5	2	8	9	22
	1	4	1	2				2	1	1								
伏臥上体そらし	5	2	7	4	8	8	2	4	7	1	6	3	2	1	9	11	11	5
	4	22	23	25	18	24	24	17	25	21	21	26	15	17	17	25	23	25
	3	16	13	8	8	9	6	10	10	15	18	19	26	23	15	14	7	13
	2				2	1	1		2	3		2	3	1	1		1	2
	1									1							1	1
立位体前屈	5	2	12	3	3	8	12	8	11	6	13	10	1	1	4	6	5	4
	4	16	9	16	13	14	7	12	23	13	13	15	11	13	21	16	15	9
	3	19	17	16	19	17	10	10	10	19	16	18	24	25	12	22	15	24
	2	3	5	2	1	2	3	1		3	2	7	10	3	4	4	6	8
	1					1	1				1				1	2	2	1
踏み台昇降	5		1	5	2	2	1	4	4	6	2	6		8	3	4	1	2
	4	10	12	10	6	15	2	12	12	11	19	14	9	11	11	10	12	18
	3	26	27	18	20	19	19	15	25	22	24	28	25	23	23	32	24	22
	2	4	3	4	8	6	11		3	2	3	2	12		5	3	7	4
	1															1		

◎ 判定表からみた年次的推移の考察

昭和46年～62年までの17年間における体力診断テストの種目別判定の年次的推移は表Ⅲの通りである。

a. 反復横とび

昭和46年には④の判定者が72%で、⑤の判定者が27%であったのが、昭和50年までに⑤の判定者が上昇し、従って④の判定者が低下した。昭和50年から昭和56年にかけて⑤の判定者は下降し、一時は取り戻したもののまた下降している。③の判定者は毎年少なかったが、昭和55年から徐々に上昇している。

b. 垂直とび

④の判定者は年次的にみると変動はあまりない。⑤の判定者の振幅ははげしい。また反復横とびに③の判定者は少なかったが、垂直とびではやや多くなっている。

c. 背筋力

⑤の判定者は少なく横ばい状態である。③④の判定者は上位を示していたが、③の判定者は上位で横ばいをし、④の判定者は昭和58年から低下している。②の判定者は少なかったが、昭和57年から徐々に多くなり、昭和61年から急に上昇している。

d. 握力

⑤の判定者はいない。④の判定者は昭和52年より昭和59年にかけて上昇していたが、昭和60年から再び下降をしている。③の判定者は徐々に高くはなったが昭和51年から昭和53年にかけて低下をし昭和54年から横ばい状態となり、④②判定者よりも上位を示めしている。②の判定者は昭和51年から昭和53年までは③④の判定者よりも上位を示したが昭和54年より低下し少なくなった。また昭和60年から急上昇をしている。また垂直とび・背筋力よりも②の判定者が多くなっている。

e. 伏臥上体そらし

⑤の判定者は少なく、昭和49年から昭和58年まで徐々に少なくなっていたが、後多くなって行くように見える。④の判定者は多く、特に昭和51年が最高であった。それから昭和57年まで徐々に下降していたが、昭和58年から再び上昇のきざしがみえだした。③の判定者は、昭和48年から10年間徐々に増加していたが、昭和59年から下向している。②の判定者はほんのわずかで毎年横ばい状態である。

f. 立位体前屈

⑤の判定者は昭和46年には多かったが、年次的に比較すると、少なくなっている。④の判定者は、昭和48年から約6年間の周期で上下を繰り返している。③の判定者は④⑤の判定者よりも上位を示している。

g. 踏み台昇降運動

③の判定者が何時も上位を示め横ばい状態である。④の判定者がそれに続き、横ばいである。⑤の判定者が少ない。②の判定者は昭和51年と昭和57年には少し多いが、⑤の判定者と同じく毎年少なく横ばい状態である。

4、体力診断テストの総得点の判定について

表Ⅳ 昭和46年～昭和62年までの体力診断テストの総得点判定の年次的推移

年	人数	A	B	C	D	E
46	40	1	18	20	1	
47	43	13	19	11		
48	37	10	13	12	2	
49	36	17	13	6		
50	42	8	28	6		
51	33	6	11	15	1	
52	31	9	18	4		
53	44	13	14	17		
54	41	13	11	15	2	
55	45	10	23	12		
56	50	19	14	15	2	
57	46	1	17	25	3	
58	42	13	21	7	1	
59	42	11	17	12	2	
60	50	12	20	15	3	
61	43	6	17	17	2	1
62	46	3	20	17	5	1

◎ 総得点判定の年次的推移の考察

表Ⅳの体力診断テストの総得点判定の年次的推移からわかるように、Dグループに属する者が昭和56年から毎年現れるようになった。そこで昭和46年から4年間を一括してA・B・C・D・Eグループの変化を調べると表Ⅴの通りである。

表Ⅴ 体力診断テストの総得点判定を4年間に一括した推移(%)

年	A	B	C	D・E
46～49	26.3	40.4	31.4	2.0
50～53	24.0	47.3	28.0	1.0
54～57	23.6	35.7	36.8	3.8
58～62	20.2	42.6	30.5	6.7

◎ 4年間に一括した推移の考察

Aグループは徐々に少なくなり、D・Eグループが徐々に多くなっている。

昭和54年共通一次試験が実施されるようになってから、D・Eグループに属する生徒が多くなって行くような感じがする。

Ⅳ. 生活環境の調査

生活調査

年 組 番 氏名

この10年をふり返ってみると、体格は発達をしているが、体力については発達がみられないと社会から言われている。そこで毎年本校に入学した生徒の17年間の体力診断テストにより調査した結果、体力の総得点判定におとろえを感じた。そこで生活環境について調査をすることにしましたので、御協力をお願いいたします。

個人名その他は公表しませんので、ほんとうの事を書いて下さい。

各質問事項について、記号には○印・（ ）には語句でお答え下さい。

0才～2才

1. 出産はどうでしたか。
イ、早期産 ロ、正期産 ハ、過期産
2. 生まれた時の体格はどうでしたか。
イ、体重(g) ()
ロ、身長(cm) ()
3. 歩行をする前に“はいはい”をしましたか。
イ、した ロ、しない ハ、あまりしない
4. いつ頃から歩行をしましたか。
イ、9ヶ月 ロ、10ヶ月 ハ、11ヶ月 ニ、1年 ホ、1年1ヶ月
ヘ、1年2ヶ月 ト、1年3ヶ月
5. 何で育ちましたか。
イ、母乳 ロ、人工乳 ハ、混合乳
6. たくさん乳を飲みましたか。
イ、はい ロ、いいえ ハ、あまり
7. 体は丈夫な方ですか。
イ、はい ロ、いいえ ハ、あまり
8. かぜ、腹痛などで医者へよく行きましたか。
イ、はい ロ、いいえ
9. 散歩につれて行くことが多かったですか。
イ、はい ロ、いいえ ハ、ときどき
10. 日中は誰といましたか。
イ、母 ロ、保育所 ハ、祖母・父 ニ、お守さん

3才～5才

1. 小学校入学前に保育所・幼稚園に行きましたか。
イ、はい ロ、いいえ
2. 何才から行きましたか。
イ、保育所 () 才から ロ、幼稚園 () 才から
3. 保育所・幼稚園には何時までいましたか。
イ、午前中 ロ、午後 () 時 ハ、午後両親が帰宅するまで () 時頃

高等学校

1. 毎年入学後に体力診断テストを実施していますが、自分の体力についてどうでしたか。
イ、平均以上の体力があった ロ、平均程の体力であった
ハ、体力はなかった ニ、わすれた
2. 体力で弱いと思っているのは次の中でどれですか。
イ、筋力 ロ、持久力 ハ、敏捷性 ニ、柔軟性
ホ、全部
3. 上記について何らかの対策を考えていますか。
イ、はい ロ、いいえ
4. イと答えた方はどんな事をしていますか。

5. 全般的に自分の健康や体力について注意をしていますか。
イ、つねに注意をはらっている
ロ、ときどき注意をはらっている
ハ、注意をはらっていない
6. 上記について注意をはらっているのは、どんな事ですか。

()

◎生活調査の結果

表Ⅵ1 0才～2才 (%) (139名)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
A (21名)	イ- 9.5 ロ-90.5	3300 以上	47.6	イ-76.2 ロ-19.0 ハ- 4.8	イ- 9.5 ロ-19.0 ハ-23.8 ニ-33.3 ヘ- 4.8 ト- 9.5	イ-33.3 ロ-14.3 ハ-52.4	イ-95.2 ハ- 4.8	イ-71.4 ロ- 9.5 ハ-19.0	イ-23.8 ロ-76.2	イ-57.1 ロ-14.3 ハ-28.6	イ-76.2 ロ-19.0 ニ- 4.8
		3300 3000	33.3								
		3000 未満	19.1								
B (57名)	イ- 7.0 ロ-89.5 ハ- 3.5	3300 以上	28.1	イ-89.5 ロ- 7.0 ハ- 3.5	イ- 3.5 ロ-24.6 ハ-38.6 ニ-17.5 ホ- 1.8 ヘ-12.3 ト- 1.8	イ-35.1 ロ-26.3 ハ-38.6	イ-50.9 ロ- 3.5 ハ-45.6	イ-73.7 ロ-14.0 ハ-12.3	イ-38.6 ロ-61.4	イ-57.9 ロ- 8.7 ハ-33.3	イ-77.2 ロ- 7.0 ハ-15.8
		3300 3000	42.1								
		3000 未満	29.8								
C (49名)	イ- 4.1 ロ-94.0 ハ- 2.0	3300 以上	26.5	イ-85.7 ロ- 4.1 ハ-10.2	イ- 2.0 ロ-10.2 ハ-30.6 ニ-38.8 ホ- 6.1 ヘ- 4.1 ト- 8.2	イ-38.8 ロ-26.3 ハ-36.7	イ-75.5 ロ-10.2 ハ-14.3	イ-75.5 ロ-14.3 ハ-10.2	イ-36.7 ロ-63.3	イ-53.1 ロ-12.3 ハ-34.7	イ-65.3 ロ-12.3 ハ-20.4 ニ- 2.0
		3300 3000	49.0								
		3000 未満	24.5								
D・E (12名)	ロ-100	3300 以上	33.3	イ-75.0 ロ- 8.3 ハ-16.7	ハ-16.7 ニ-41.7 ホ-16.7 ヘ- 8.3 ト-16.7	イ-41.7 ハ-58.3	イ-50.0 ロ-16.7 ハ-33.3	イ-66.7 ロ-16.7 ハ-16.7	イ-50.0 ロ-50.0	イ-66.7 ロ- 8.3 ハ-25.0	イ-58.3 ロ-16.7 ハ-25.0
		3300 3000	25.0								
		3000 未満	41.7								

表VI 2 3才～5才 (%)

	①	②-イ	②-ロ	③	③-時間	④	⑤-イ	⑤-人数	⑥-ロ	⑥-人数
A (21名)	イ-100	イ-33.3	ロ-66.7	イ- 9.5	2-47.6	イ-14.3	イ-40.0	イ-83.3	イ-40.0	ロ- 5.5
				ロ-85.7	3- 9.5	イロ- 9.5	ロ-40.0	ロ-83.3	ロ-40.0	ハ-22.2
	0.5 4.8	3-19.0	ハ- 4.8	4-19.0	ロ-76.2	ハ-80.0	ハ-72.2	ハ-20.0	ニ-55.6	
	3-28.5	4-42.9		5- 9.5		ホ-60.0		ニ-33.3	ホ-16.7	
		5- 4.8						ヘ-22.2		
								ト-16.7		
B (57名)	イ-100	イ-33.3	ロ-66.7	イ-24.6	1- 7.0	イ-45.6	イ-48.6	イ-45.7	イ-67.7	ロ- 3.2
				ロ-73.7	2-33.3	イロ-15.8	ロ-54.3	ロ-22.9	ロ-71.0	ハ-41.9
		0- 1.8	2- 1.8	ハ- 1.8	3-12.3	ハ-38.6	ハ-54.3	ハ-22.9	ハ-64.5	ニ-25.8
		1- 1.8	3-22.8		4-19.3		ニ-17.1	ニ- 5.7	ニ-51.6	ホ-29.0
		2- 6.9	4-40.3		5- 5.3		ホ-17.1	ホ- 2.8	ヘ-35.5	
		3-10.5	5- 1.8						ト-32.3	
	4-12.3									
C (49名)	イ-100	36.7	63.3	イ-20.4	1- 6.1	イ-38.8	イ-55.1	イ-41.4	イ-56.7	ロ-16.7
				ロ-77.6	2-30.6	イロ-20.4	ロ-41.4	ロ-37.9	ロ-73.3	ハ-43.3
		0- 2.0	3-32.7	ハ- 2.0	3-14.3	ロ-40.8	ハ-48.3	ハ-13.8	ハ-57.6	ニ-26.7
		2- 2.0	4-18.4		4-22.5		ニ- 3.4	ニ- 3.4	ニ-16.7	ホ-13.3
		3-22.4	5-12.2		5- 6.1		ホ-31.0	ホ- 3.4	ヘ-40.0	
		4- 6.1			6- 2.0				ト-13.3	
	5- 4.1									
D・E (12名)	イ-100	50.0	50.0	イ- 8.3	1- 8.3	イ-58.3	イ-70.0	イ-60.0	イ-60.0	ロ-20.0
				ロ-75.0	2-33.3	イロ-25.0	ロ-70.0	ロ-10.0	ロ-80.0	ハ-40.0
		2-25.0	3-25.0	ハ-16.7	3-25.0	ロ-16.7	ハ-60.0	ハ-20.0	ハ-80.0	ニ-20.0
		3-16.7	4-16.7		4-16.7		ニ-10.0	ニ-10.0	ニ-40.0	ホ-20.0
		5- 8.3	5- 8.3		5- 8.3		ホ-30.0		ヘ-80.0	
			6- 8.3					ト-20.0		

表VI3 3才-5才 つづき (%)

	⑦	⑧	⑨	⑨-時間	⑩	⑩-内容	⑪	⑪-内容
A (21名)	イ-76.2 ロ-19.0 ハ- 4.8	イ-38.1 ロ-61.9	イ-61.9 ロ- 4.8 ハ-33.3	7.5 -12.5 9 -87.5	イ-85.7 ロ-14.3	バレ- -33.3 トランポリン-33.3 水泳 -33.3	イ-57.1 ロ-42.9	ピアノ - 83.3 バイオリン- 8.3 絵 - 8.3
B (57名)	イ-64.9 ロ-26.3 ハ- 8.8	イ-36.8 ロ-63.2	イ-70.2 ロ- 8.8 ハ-21.0	7 -17.6 7.5 -11.8 9 -70.6	イ-80.7 ロ-19.3	バレ- - 36.4 水泳 - 36.4 体操 - 27.3 日本舞踊- 9.1	イ-56.1 ロ-43.9	ピアノ -65.6 習字 -21.9 英語 - 3.1 エレクトーン-15.6 オルガン -15.6 絵 - 3.1 日本舞踊 - 3.1
C (49名)	イ-57.1 ロ-26.5 ハ-16.3	イ-42.9 ロ-57.1	イ-69.4 ロ- 8.2 ハ-22.4	7 -13.3 7.5 -13.3 9 -66.7 10 - 6.7	イ-85.7 ロ-14.3	バレ- - 14.3 水泳 - 57.1 体操 - 42.8	イ-49.0 ロ-51.0	ピアノ -87.5 習字 - 4.2 エレクトーン- 8.3 オルガン - 4.2
D・E (12名)	イ-50.0 ロ-41.7 ハ- 8.3	イ-50.0 ロ-50.0	イ-75.0 ハ-25.0	9 -66.7 11 -33.3	イ-91.7 ロ- 8.3	バレ- - 100.0	イ-41.7 ロ-58.3	ピアノ - 60.0 オルガン- 20.0 ソロバン- 20.0

表VI 4 小学校1年生～小学校3年生 (%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦塾	⑦スポーツ 教室	⑧塾	⑧スポーツ 教室
A (21名)	イ-61.9	イ-72.2	ハ-27.8	イ-12.5	イ-37.5	イ-100.0	1-52.4	1-38.1	イ-33.3	ハ-33.3
	イロ-23.8	ロ-44.4	ニ-27.8	ロ-62.5	ロ-25.0		2-23.8	2-9.5	ロ-52.4	ヘ-9.5
	ロ-14.3	ハ-61.1	ホ-44.4	ハ-37.5	ハ-37.5		3-14.3		ハ-85.7	
		ニ-61.1		ニ-37.5			4-14.3		ニ-9.5	
	ホ-50.0		ホ-37.5					ホ-4.8		
	ヘ-27.8		ト-12.5					ヘ-9.5		
								チ-4.8		
B (57名)	イ-49.1	イ-65.9	イ-2.4	ロ-69.0	イ-41.4	イ-94.7	1-53.7	1-18.5	イ-33.3	ハ-18.5
	イロ-22.8	ロ-46.3	ロ-4.8	ハ-20.7	ロ-34.5	ロ-5.3	2-24.1	3-9.3	ロ-51.9	ニ-1.9
	ロ-28.1	ハ-63.4	ハ-34.1	ニ-17.2	ハ-17.2		3-14.8	4-1.9	ハ-66.7	ホ-7.4
		ニ-53.6	ニ-22.0	ホ-24.1	ニ-6.9		4-1.9		ニ-9.3	ヘ-1.9
	ホ-39.0	ホ-36.6	ヘ-6.9					ホ-1.9		
	ヘ-29.3		ト-27.6					ヘ-5.6		
			チ-6.9					ト-1.9		
C (49名)	イ-49.0	イ-76.5	ロ-8.8	イ-4.0	イ-52.0	イ-83.7	1-53.7	1-14.6	イ-24.4	ハ-22.0
	イロ-20.4	ロ-44.1	ハ-11.8	ロ-68.0	ロ-20.0	ロ-16.3	2-22.0	2-2.4	ロ-43.9	ニ-2.4
	ロ-30.6	ハ-55.9	ニ-41.2	ハ-28.0	ハ-28.0		3-9.8	3-14.6	ハ-68.3	ホ-4.9
		ニ-52.9	ホ-38.2	ニ-32.0			4-4.9		ニ-9.8	ヘ-4.9
	ホ-55.9		ホ-12.0					ホ-2.4		
	ヘ-26.5		ヘ-8.0					ヘ-12.2		
			ト-12.0					チ-4.9		
			チ-12.0							
D・E (12名)	イ-33.3	イ-77.8	ロ-11.1	ロ-87.5	イ-50.0	イ-91.7	1-45.5	1-9.1	イ-18.2	ハ-9.1
	イロ-41.7	ロ-33.3	ハ-33.3	ハ-25.0	ロ-25.0	ロ-8.3	2-27.3	2-9.1	ロ-63.6	ホ-18.2
	ロ-25.0	ハ-77.8	ニ-11.1	ニ-12.5	ハ-12.5		3-9.1	4-9.1	ハ-63.6	
		ニ-33.3	ホ-55.6	ホ-12.5	ニ-12.5		4-18.2		ニ-9.1	
	ホ-44.4		チ-37.5	ホ-12.5				ヘ-9.1		
	ヘ-33.3									

表VI 5 小学校4年生～小学校6年生 (%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦塾	⑦スポーツ 教室	⑧塾	⑧スポーツ 教室
A (21名)	イ-42.9	イ-40.0	ロ- 6.7	イ-25.0	イ-16.7	イ-100.0	1-61.9	1-14.3	イ-23.8	ハ- 9.5
	イロ-28.6	ロ-26.7	ハ-20.0	ロ- 7.5	ロ-50.0		2- 9.5	4- 9.5	ロ-57.1	へ- 9.5
	ロ-28.6	ハ-13.5	ニ-33.3	ハ-41.7	ハ-16.7		4- 9.5		ハ-85.7	
		ニ-40.0	ホ-40.0	ニ- 8.3	ニ- 8.3		5- 9.5		ニ- 9.5	
		ホ-26.7		ホ-33.3	ホ- 8.3		6- 9.5		ホ-23.8	
		へ-60.0		へ-25.0					へ-28.6	
				ト- 8.3					ト- 9.5	
			チ- 8.3							
B (57名)	イ-38.6	イ-45.7	ロ- 5.7	イ-28.6	イ-54.3	イ-93.0	1-35.8	1-13.2	イ-32.1	ハ- 9.4
	イロ-22.8	ロ-34.3	ハ-28.6	ロ-77.1	ロ-25.7	ロ- 7.0	2-13.2	2- 1.9	ロ-32.1	ニ- 1.9
	ロ-38.9	ハ-28.6	ニ-25.7	ハ-57.0	ハ-17.1		3-20.8	3- 1.9	ハ-56.6	ホ- 5.7
		ニ-57.0	ホ-45.7	ニ- 8.6	ニ- 2.9		4- 9.4	4- 3.8	ニ- 9.4	へ- 3.8
		ホ-25.7		ホ-20.0			5-15.1	5- 1.9	ホ-20.8	
		へ-34.3		へ-11.4			6- 5.7		へ-30.2	
				ト- 5.7					ト- 7.5	
			チ-17.1					チ-17.0		
C (49名)	イ-38.8	イ-35.7	ロ-14.3	イ-20.0	イ-50.0	イ-93.9	1-34.8	1- 4.3	イ-32.6	ハ-19.6
	イロ-18.4	ロ-28.6	ハ-21.4	ロ-76.7	ロ-33.3	ロ- 6.1	2-15.2	2- 2.2	ロ-50.0	へ- 2.2
	ロ-42.9	ハ-21.4	ニ-14.3	ハ-60.0	ハ-10.0		3- 2.2	3- 8.7	ハ-71.7	ホ- 4.3
		ニ-57.1	ホ-53.6	ニ-13.3	ニ- 6.7		4-19.6	4- 6.5	ニ- 4.3	
		ホ-35.7		ホ-40.0			5-19.6	5- 2.2	ホ-13.0	
		へ-46.4		へ-13.3			6- 6.5		へ-23.9	
				チ- 6.7					ト- 8.7	
								チ-21.7		
D・E (12名)	イ-16.7	イ-40.0	イ-20.0	イ-10.0	イ-54.5	イ-83.3	1-10.0		イ-50.0	
	イロ-25.0	ハ-40.0	ハ-20.0	ロ-90.0	ロ- 8.3	ロ-16.7	2-10.0		ロ-50.0	
	ロ-58.3	ニ-20.0	ニ-40.0	ハ-60.0	ハ- 8.3		3-20.0		ハ-60.0	
		ホ-40.0	ホ-60.0	ホ-20.0	ニ-25.0		4-30.0		ホ-20.0	
		へ-40.0		チ-30.0	ホ- 8.3		5-20.0		へ-10.0	
								ト-10.0		

表VI 6 中学校 (%)

	①	②	③	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨回	⑨時間	⑩	
A (21名)	5-9.5	イ-100.0	イ-61.9	イ-90.5	ロ-26.3	イ-9.5	イ-100.0	3-4.8	2-57.1	イ-47.6	
	6-38.1		ロ-19.0	ロ-9.5	ホ-47.4	イロ-4.8		4-4.8	2.5-23.8	ロ-52.4	
	6.5-23.8		ハ-71.4		ヘ-21.1	イハ-4.8		5-9.5	3-9.5		
	7-23.8		ホ-19.0		ト-57.9	ロ-66.7		6-71.4	4-9.5		
	7.5-4.8				チ-31.6	ハ-14.3		7-9.5			
B (57名)	4-5.3	イ-100.0	イ-57.9	イ-73.7	ロ-9.5	イ-29.8	イ-98.2	0-5.4	1-1.8	イ-35.1	
	4.5-5.3		ロ-36.8	ロ-26.3	ニ-33.3	イロ-7.0		ロ-1.7	1-1.8	2-35.7	ロ-64.9
	5-7.0		ハ-78.9		ホ-78.6	イハ-1.7			2-3.6	2.5-21.4	
	5.5-1.7		ニ-14.0		ヘ-40.5	ロ-56.1			3-7.1	3-33.9	
	6-22.8		ホ-10.5		ト-76.2				5-3.6	4-5.4	
	6.5-26.3				チ-16.7				6-58.9	6-1.8	
	7-22.8								7-19.6		
	7.5-3.5										
	8-3.5										
9-1.7											
C (49名)	4-6.1	イ-100.0	イ-51.0	イ-61.2	ロ-16.7	イ-22.4	イ-98.0	1-2.1	1.5-6.3	イ-32.7	
	5-10.2		ロ-44.9	ロ-38.8	ニ-16.7	イロ-12.2		ロ-2.0	2-4.2	2-43.8	ロ-67.3
	5.5-2.0		ハ-77.6		ホ-60.0	ロ-57.1			3-14.6	2.5-12.5	
	6-42.9		ニ-8.2		ヘ-33.3				4-4.2	3-31.3	
	6.5-14.3		ホ-16.3		ト-70.0				5-4.2	4-6.3	
	7-20.4				チ-26.7				6-45.8		
	7.5-2.0								7-25.0		
	8-2.0										
D・E (12名)	4-41.7	イ-100.0	イ-25.0	イ-66.7	ロ-12.5	イ-33.3	イ-100.0	0-25.0	1-25.0	イ-50.0	
	4.5-16.7		ロ-66.7	ロ-33.3	ニ-25.0	ロ-25.0		1-16.7	1.5-50.0	ロ-50.0	
	5.5-8.3		ハ-50.0		ホ-62.5	ハ-41.7		2-25.0	2-16.7		
	6-8.3		ホ-8.3		ヘ-37.5			3-8.3	3-8.3		
	6.5-16.7				ト-50.0			5-8.3			
	7-8.3				チ-37.5			6-8.3			
						7-8.3					

表VI 7 高等学校 (%)

	①	②	③	⑤
A (21名)	イ-61.9	イ-33.3	イ-28.6	イ-28.6
	ロ-19.0	ロ-57.1	ロ-71.4	ロ-42.9
	ニ-19.0	ハ-14.3 ニ-33.3		ハ-28.6
C (49名)	ロ-49.0	イ-22.4	イ- 8.2	イ-16.3
	ニ-22.4	ロ-36.7	ロ-91.8	ロ-44.9
	ハ-28.6	ハ-24.5 ニ-28.6 ホ-26.5		ハ-38.8

	①	②	③	⑤
B (57名)	イ-14.0	イ-35.1	イ- 5.3	イ- 7.0
	ロ-42.1	ロ-43.9	ロ-94.7	ロ-63.2
	ハ-14.0	ハ-33.3		ハ-29.8
	ニ-29.8	ニ-33.3 ホ-14.0		
D・E (12名)	ロ- 8.3	イ-25.0	ロ-100.0	ロ-66.7
	ハ-66.7	ロ-25.0		ハ-33.3
	ニ-25.0	ハ- 8.0		
		ニ-16.7 ホ-58.3		

◎ 生活調査についての考察

0才～2才（表Ⅵ 1を参照）

生徒は記憶のないことであり、母親は15年前のことなので少し記憶がうすれているようであるが、母子手帳・育児日記・当時の写真からなるべく正確に思い出して記載をしてもらった。

- ① 出産は正期産がほとんどで、特にD・Eグループは全員正期産である。A、B、Cグループでは早期産が僅かにおり、B、Cグループでは過期産が僅かに含まれている。
- ② 生まれた時の体重で区分をすると、Aグループのうち3300以上の体重者が他の3300～3000、3000未満より多い。Bグループは3300～3000までの体重者が他の区分より多い。CグループはBグループと同じように、3300～3000までの体重者が他の区分より多い。D・Eグループは3000未満者の体重者が多い。
小さく生んで大きく育てようといった時もあったが、やはり大きく生んで大きく育てる方がよいように思われる。
- ③ 歩行の前に“はいはい”をする者が殆どであるが、“はいはい”をしない者、あまりしない者が、21名いる。割合で比較すると、心持D・Eグループに多いようである。“はいはい”をしない者は体力が弱いという記録があったが、これからみると幾分かうなづける。
- ④ 歩行はAグループで11ヶ月から1年までが多い。Bグループは10ヶ月から11ヶ月、Cグループは11ヶ月から1年、D・Eグループは11ヶ月から1年1ヶ月に歩行している。
- ⑤ 混合乳で育った者はA、D・Eグループに多い。母乳のみでそだつた者はA、B、C、D・Eのグループ順に多くなっている。
- ⑥ お乳をよく飲んだのは、Aグループであり、次にCグループである。B、D・Eグループは半数の者はよく飲んでいる。
- ⑦ 体は各グループともに丈夫な方の選択者が多い。
- ⑧ 風邪とか腹痛で医者に行く者は少ない。D・Eグループでは、半数の者が医者へよく行っている。
- ⑨ A、B、Cグループは散歩に連れては行くようだが、D・Eグループ程多く連れてはいかなかったようである。
- ⑩ 母親が養育しているのは、各グループ共多い。C、D・Eグループでは祖父・祖母さんが育児をし、次に保育所で過ごしている者もいる。A、Bグループでは母親に育てられた者が他のグループに比較して多い。

3才～5才（表Ⅵ 2を参照）

- ① 小学校入学前には全員が保育所か幼稚園に行っている。
- ② Aグループの者は、保育所へ行く者が3割程で、幼稚園に行く者が7割と多い。保育所へは3才児で行くものが多く、幼稚園へ行く者は4才児から行く者が多い。全員小学校へ行く前に保育所か幼稚園へ通っている。
Bグループの者は、保育所の方へ行く者と幼稚園へ行く者の割合はAグループと同じである。
3才児になる前に保育所へ通った者が4名いる。保育所へいくのは3才から4才になると行っている。幼稚園へは3才から4才には行っているが、4才から行く者が多い。
Cグループの者は3才で保育所へ行く者が多く、幼稚園へは3才から4才には行っている。3才で行く者が他のグループに比較して僅かに多い。

D・Eグループの者は保育所へ行く者と幼稚園へ行く者の割合が同じであり、他のグループとは異なる。また保育所へは2才から行く者が多い。幼稚園へは3才児から行く者が多い。一括すると、A、C、D・Eグループは3才から行く者が多く、Bグループは4才から行く者が多い。

- ③ 午前中に帰宅する者は全体の16%程であり、殆どの者は午後には帰っている。午後には帰るうち約半数の者は午後2時頃に帰宅する。次に多いのが午後4時である。この頃になると、90%の者が帰宅をしている。
- ④ 帰宅後家の中ではほとんどいた者が、D・Eグループで半数以上いるが、Aグループでは、わずかであり、外で遊ぶ者が非常に多い。家の中にいたり、外でも遊んだ者が、Aグループには少ないが、B、C、D・Eグループになるにつれ、多くなっている。
- ⑤ 家の中ではD・Eグループは、殆どの者が1人で絵本を読んだり、お絵かきをしたり、おもちゃで遊んでいる。その他ではリカちゃん人形・積木・ブロック・ピアノ・ままごとなどを行っている。
- ⑥ 外で遊んでいるのが多いAグループは4人の友達、B、Cグループは3人の友達で鬼ごっこ、かくれんぼ、砂あそびをすることが多い。次にスベリダイ・ボール遊び・ままごと・ブランコ・缶けりなどをして遊んでいる。(表VI 3を参照)
- ⑦ 食事を多くさん食べたのはAグループでB、C、D・Eグループとなるにつれだんだん少なくなっている。D・Eグループは外ではあまり遊ばなく食事もすまないようである。
- ⑧ 偏食をしたのは、D・Eグループで約半数の者が偏食をしている。その他のグループでも約4割のものが偏食をしている。
- ⑨ 夜は午後8時頃に就寝をしている者が多く、午後8時前に寝る者は少ない。それよりも午後の9時まで起きている者が多い。殆どの者は午後9時には就寝をしている。
- ⑩ スポーツ教室へは、殆どの者が行っていない。特にD・Eグループは行っていない。内容は水泳教室へ行っている者が多く、次にバレエと体操に通っている。
- ⑪ おけいこに通っているのは約半数程いる。Aグループが多く、B、C、D・Eグループになるにつれ少なくなっている。内容はピアノのおけいこをしている者が多く、次に習字・エレクトーンである。

小学校1学年～3学年(表VI 4を参照)

- ① 小学校へ行くようになると、新しい友達ができ外で遊ぶ機会が多くなった。3才～5才の時よりも外で遊んでいる。なかでも小学校に入って特に外で遊ぶようになったグループはD・Eグループであり、B、Cもそれにつづいている。家の中にいたり外で遊んだりする人数も3才～5才の時より、A、B、D・Eグループは多くなっている。
- ② 外では鬼ごっこ、かくれんぼ、ドッチボール、ケンパ、なわとびである。D・Eグループでは鬼ごっこ、かくれんぼをする者が多い。
- ③ 遊びの仲間が増え3人以上その他大勢で遊ぶようになる。
- ④ 家の中にいる場合は読書をしている者が多い。特にD・Eグループは8割以上の者が読書をしている。次にテレビを見る者が多く、ままごと、ヌリ絵、ピアノの練習も多い。

読書の種類は

児童文学、グリム童話、世界名作全集、伝記、小学館、学研の月刊誌、図書館の本、ドリルなどである。

- ⑤ B、C、D・Eのグループは1人か2人で読書をする者が多い。
- ⑥ スポーツ教室や塾へ行っている者が多い。Aグループでは全員が、何かを習っている。

次にB、D・Eグループは9割の人が、Cグループは8割の者が習っている。

- ⑦ スポーツ教室や塾へは小学校1年生（幼稚園から行っている者も含む）から習う者が多い。次に2、3年生である。
- ⑧ Aグループでピアノの塾へ行っている者が一番多い。B、C、D・Eグループもピアノを習っている者が多い。それにつづくのが書道であり、次に珠算である。
- スポーツ教室へ行っている者は少ない。なかでも水泳を習っているものが多く、つぎにバレエである。

小学校4年生～6年生（表VI5を参照）

- ① Aグループは帰宅後、外で遊ぶ者が低学年の時に比較して少なくなっているが、他のグループに比較すると少しは多い。幼稚園から比較すると外で遊ぶ者が半数になっている。Bグループでは、小学校低学年には外で遊ぶ者が多くなっていたが幼稚園の時と同じように少なくなっている。Cグループでは僅かに家の中の方が多。D・Eグループは家の中にいる者が多くなっている。

- ② 外で遊ぶ場合にはどのような遊びをしているのだろうか。

Aグループでは低学年時に鬼ごっこ、かくれんぼ、ドッチボールの順であったが、4年生から6年生にかけては、その他、ドッチボール、鬼ごっこである。その他の内容では、ゴム跳び、たんぼ、バスケットボール、バドミントンなどをあげている。

Bグループでは低学年に鬼ごっこ、かくれんぼ、ドッチボールの順に人気があったが、高学年になると、ドッチボール、鬼ごっこ、その他であり、その内容はゴムとび、Sけん、たんぼ、野球、サッカー、バレー、バドミントン、鉄棒等多くの種類が出てきた。

Cグループでは低学年に鬼ごっこ、かくれんぼ、ケンパであったが、ドッチボール、その他、ケンパである。その他には、ゴムとび、Sけん、たんぼ、たすけ、探偵ごっこ、野球、サッカー、バスケットボール、バドミントンをあげている。

D・Eグループの低学年時は、鬼ごっこ、かくれんぼ、けんぱをしていたが、あまりしなくなった。

- ③ 遊びの人数は多勢で遊ぶのを選んでおり、つぎに3人以上で遊ぶのを選んでいる。
- ④ Aグループでは低学年に読書・テレビをみていたが高学年になると読書をする者が多くなり、テレビをみたりピアノの練習もよくするようになった。

Bグループは低学年では読書。ピアノ・ヌリ絵を選んでいるが、高学年では、読書・テレビ、勉強をする者が多くなった。なかでもテレビの視聴者が多くなった。

Cグループは低学年で読書・テレビ、ままごとであったが、高学年になると、読書、テレビ、ピアノの練習である。特にテレビの視聴者が増加した。

D・Eグループは、読書・テレビが多くなった。

読書は主に、宿題・世界名作全集・日本名作全集・伝記・推理小説・随筆・児童文学・歴史物語・図書館で推せんされた本、夏目漱石などである。

- ⑤ 読書をするのが多くなるにつれ、1人か2人でしている。
- ⑥ 塾、スポーツ教室へ行く者がAグループでは、低学年と共にすべての者がどこかえ通っている。Cグループは高学年になると急に多くなってきた。学年が進むにつれて塾通いが多くなっている。前に行っている書道、珠算、ピアノの他に、Aグループでは国語、算数を習いに行く者が多くなった。Bグループでは低学年に習っていたのと変わらないが、算数を習うものが多くなった。Cグループでは珠算、算数を習う者が多くなった。D・Eグループでは珠算を習う者が増加した。

スポーツ教室へはD・Eグループは誰れも行かなくなり、また、A、B、Cグループ共に少なくなっている。水泳はいくらか少なくなったが、スポーツ教室の中では多い。バレーは続けている。

中学校 (表VI 6 を参照)

- ① 中学校になると急に帰宅時間がおそくなる。A、B、Cグループは共に午後6時から7時までの間に帰宅する者が多い。D・Eグループは午後4時に帰宅する者が多い。
- ② 帰宅後 外で遊ぶことはどのグループもしていない。
- ③ 帰宅後何をして過ごしているのだろうか、Aグループでは、テレビ、ラジオ、レコード鑑賞と学校の勉強をしている。Bグループでは、テレビ、ラジオ、レコード鑑賞と学校の勉強、読書をする者も多くなった。Cグループではテレビ、ラジオ、レコード鑑賞と学校の勉強、読書である。D・Eグループでは読書をする者がどのグループより多く、テレビ、レコード鑑賞になっている。学校の勉強を多くしているのはAグループであった。
- ④ 外で遊ぶ者は1人もいない。
- ⑤ 塾に通っている者はAグループでは、殆どの人が通っており、B、D・E、Cの順に塾へ通っている。
- ⑥ 英語、数学を習う者がどのグループでも多い。次ぎは理科・国語・社会となっている。書道・ピアノは継続して習っている。
- ⑦ 学校のクラブ活動と部活動は異なる物を選んだ方がよいとの方針で実施した中学校が多い。しかしクラブ活動と部活動を同じ物を実施している学校もある。

ちなみに本校は60%は付属中学校から入学しているので前記の方が多かったようにも思われる。

- ⑧ クラブ活動はどの学校も実施しており、その内容は多岐に渡っている。多く実施している順に示すと、テニス、日本画、百人首、卓球、切絵、バレーボール、科学、ソフトボール、音楽、バスケットボール、陸上、読書、木目込、晴耕雨読等である。まだまだ多くの種類をしているのでびっくりしている。このクラブ活動は3年間連続している者、2年間連続している者、1年毎に変えている者、部活動と同じ物を選んでる者などである。3年間連続者は、僅かであり2年間連続者はそれにつぐ、年毎に変えた者が多くなっている。2年生から部活動と同じにするようにした学校も多い。
- ⑨ 部活動をした者はA、D・Eグループは全員が部活動に参加している。B、Cグループは1名ずつ参加をしていない。

Aグループでは、バレーボール・陸上・バドミントン・ブラスバンド・次に卓球・バスケットボール・テニスと殆ど運動系の部活動に入部している。

Bグループは、テニス、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球、陸上、ハンドボール、ブラスバンド、演劇で運動系の部活動が多い。

Cグループは、バドミントン、卓球、バスケットボール、テニス、科学、ブラスバンド、日本画、英会話と文化系も多い。

D・Eグループでは、ブラスバンド、新聞、編物、郷土研究をし、バレーボール、卓球、テニスに入部している。この中にはマネージャーとして部活動に参加している者もいる。1週間に毎日部活動をやっている者が多い。3日の者もいる。D・Eグループは2日の者が多い。

1日の練習時間はD・Eグループは2時間・A、B、Cグループは2時間から3時間である。

- ⑩ 食事に気をつけているグループはA、D・Eグループで約50%が気をつけており、B、Cグループは約30%が気をつけている。
- ⑪ どんなことに気をつけているのだろうか。栄養のバランスを考え、野菜、肉、果物などに気をつける。3度の食事をきちんと食べ偏食をしないようにする。暴飲暴食をしないようにする。糖分、油脂、塩分を取りすぎないようにし、緑黄色野菜、海草類はかがさずとり、牛乳、ヨーグルトなどもとる。小魚もよくとる。間食はなるべくひかえ、合成着色料などの入った物はなるべくさける。以上のことについて気をつけている。

高等学校（表Ⅶ7を参照）

- ① 自分の体力をどのように意識しているのだろうか、Aグループでは平均以上の体力があるという者6割程で平均程の体力がある者も合わせると、8割意識しているが、わすれた物もいる。
Bグループは、平均程の体力があると答えた者が多いが、わすれた者も3割程いた。
Cグループは、平均程の体力があると答えた者が約半数であると体力はないという者もBグループよりも多い。わすれた者も前と同じようにいる。
D・Eグループは、体力はないという者が多い。ここでもわすれた者がいる。全体的にわすれたものが2割強いることは体力についての意識があまりないことだろうか、残念である。
- ② 体力で弱いと思っているところを各グループ毎に多い順から並べると、Aグループでは持久力、筋力、柔軟性であり、Bグループは持久力、筋力、敏捷性、柔軟性、Cグループは持久力、柔軟性、全部、D・Eグループは全部、筋力、持久力である。どのグループも持久力、筋力、柔軟性がないと意識をしている。
- ③、④ 体力について弱いと思っているが、その対策は考えていない者が多い。考えている者の中には、柔軟体操を毎日やる、部活動をする、走る 自転車にのる、大学へ入学したらエアロビクスをやるなど示している。
- ⑤ 自分の健康や体力について注意をしているのかと上記同様に尋ねてみた。Aグループでは、ときどき注意をはらっている者、つねに注意をはらっている者を合わすと、7割程いる。Bグループではときどき注意をはらっている者が多い。Cグループでは注意をはらっていない者が他のグループよりも目立っている。D・Eグループでは、他のグループと異なるのはつねに注意をはらっている者が少ないことである。ときどき注意をはらっている者は多いが、注意をはらっていない者も多い。つねに注意をはらっているのは、Aグループの者が多い。
- ⑥ 健康面についての事項が多い。食事に関する事、睡眠休養に関する事が多い。野菜・魚に片寄らず栄養のバラスを考えて食事をする。繊維質の食事を取り、暴飲・暴食をしない、規則正しい食生活をする。偏食をしないようにする。甘い物や、間食はなるべく控え目に食べる。寝不足をしないように規則正しい生活をする。運動不足にならないようにマラソンをする。受験に打ち勝つようにたくましい体をつくる。スポーツ前には準備運動に気をつける。歩くようにする。体重の変化に気をつけ肥満にならないようにし、毎日の便に気をつける。便秘にならないようにする。目、貧血などにも気をつけている。

V. まとめ

幼時からの運動発達は、環境、遺伝的要因、疾病、母親の育児習慣・家族構成、生活様式などの影響を受ける。本校に入学できる生徒は、正期産で普通の大きさに生まれ、その後よくお

乳を飲み、歩行が普通よりも少し早く、母親が育てている。お祖父さんお祖母さんに育てられる子は体力が弱いようである。年を取ると、危ないといって制止させることが多く、子供の運動への意欲がそがれ、発達のおくれとともに、大切な自発性、積極性まで失われることになりかねない。住居が狭く、道路の危険が多く、戸外で遊ぶことが少ないので歩くことも少なくなり、運動発達を阻害する要因が多い。そこでこれらを補うためにも外気と日光にふれさせ、公園で思うぞんぶんに遊ばせ、身体を動かす快さを味わせてやることが大切である。

3才児までに全身的な運動を十分にさせないと、そのあといくら運動をさせても、運動神経がにぶいまま大人になってしまうといわれるほどである。

2年間は保育所・幼稚園に殆どの者が通うので、体力的なものは殊更注意する必要もないが帰宅する時間が早いのでその後、外で友達とドッチボール、鬼ごっこ、缶けり、三輪車などをしてよく遊ぶように心がける。また偏食をしないようにし、よく食べ、よく寝るようにさせることである。4才、5才に家でテレビを見たり、夜おそくまで起きると、睡眠不足になり、食欲がなくなる、また間食とか甘いものを食べすぎると、一般的に体力は弱くなる。

小学校低学年においては、友達も多くなり外で遊ぶことも多くなるが、ここから体力の弱い者は家で本を読むようになる。経済的にも安定しているのでおけいこごとが盛んになる。ピアノは幼稚園から続けている者が多いが、書道、珠算を習いだす。これは体力のある子とか忍耐力のある子がずっと続けられるのでよい。

小学校高学年になると、体力の弱い子は家で読書量が多くなる。体力のある子も低学年に比較して、読書をする者が多くなる。中学校へ進学のための勉強がはじまる。特に算数を習うものが増加し、テレビを見る者も増加している。小学校高学年に第2次性徴期がくる時に、体を動かして体力をつけなければいけない。その時に家の中でテレビや読書が多くなるので体力はつかない。従って小学校高学年には体育の時間を増加しなければならないと思っている。

中学校では部活動が活発になる。運動等の部活動をするかしないかによって体力はことなる。運動経験の多い者が少ない者より体力は優れる。この時高等学校入学のために塾へ通う者が多くなる。5教科を習う者がだんだん増加する。

高等学校1学年は体力のピークに達すると言われるが、自分の体力についてはあまり考えていない。また考えていられないことかもしれない。目前に迫った受験競争である。進学のための学習である。体育・スポーツからの隔離につながっている。真に学問にいそしみ、将来たくましく活躍しようとすれば強い精神と体力を必要とするのであるから、現状のような受験科目の重視は問題である。思春期の生命的要求である運動への参加が進学体制の中で弱められているとしたら、それは肉体の運動不足による体力低下とともに精神不安をも招く、体力をどう伸ばすかということより、発達成長期の生徒の体力低下をどうくい止めるかを考えるほうが急務のように思える。そこで女子の筋力の発達は15才～16才で停止するといわれているので1学年の体育の時間を1時間増加するとよいだろう。

女子は早くから塾通いやけいこごとをさせられては、運動をする機会がますます減り、それだけ健康や体力にはマイナスになる。中学校・高等学校の年代に入り、体力を作らなければいけない時に運動はますます遠ざかっている。むかしは女の子は家事の手伝いをさせられていた、家の内外の掃除や洗濯は骨の折れる労働であった。電化された現在は、洗濯・掃除から解放され、その反面体力がおとろえてきた、女子はいろいろなおけいこ事はするが、スポーツを選ばせる親はまだ少ない。女子と体育スポーツに関する意識の転換が体力を動かす力となるだろう。

最後にコンピューターの指導をして下さった檜田氏に紙面を持ってお礼を申し上げます。また、体格の整理をして下さった平野氏にも感謝いたします。

参考文献

- 1) 文部省体育局 「昭和47年度 体力、運動能力調査報告書」
- 2) 文部省 「資料速報・体力・運動能力報告書」 保健体育教室
- 3) 中島英昭・永井信雄 「女子生徒の体力分析」 体育学研究
- 4) 徳永幹雄・橋本公雄 「運動経験と発育・発達に関する研究」 体育学研究
- 5) 文部省体育局 「健康と体力 たくましい子を育てる」
- 6) 早川芳太郎 「あらためて体力づくりを考える」
- 7) 田多井 「加齢の健康学、発育と老化からのアプローチ」
- 8) 瀬戸進 「発育発達と健康」 海青社
- 9) 小野三嗣編 「からだの科学」 特別企画、総合体力、日本評論社
- 10) 文部省体育局 「健康と体力」 保健体育指導の総合専門誌
- 11) 松浦義行 「体力の発達 現代の体育、スポーツ科学」 朝倉書店
- 12) 日本体育学会編集 「体育の科学」 体育の科学社
- 13) 教育と医学の会 「教育と医学」 慶応通信

◎ 0才～2才 A群 (21名) の結果

0才～2才 A群 3300以上

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
A 1	ロ	3500	60	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
A 2	ロ	3500	50	イ	ハ	イ	イ	ハ	ロ	ハ	イ
A 3	ロ	3400	49	イ	ハ	イ	イ	ハ	イ	イ	イ
A 4	ロ	3400	51	イ	ト	ロ	イ	ロ	イ	イ	イ
A 5	ロ	3600	52	イ	ニ	ロ	イ	ロ	イ	ハ	ロ
A 6	ロ	3680	57	イ	ヘ	ロ	イ	イ	ロ	ロ	イ
A 7	ロ	3500	50	ハ	ニ	ハ	イ	イ	ロ	イ	イ
A 8	ロ	3800	54	ロ	ロ	イ	イ	イ	ロ	ロ	イ
A 9	ロ	3600	50	ロ	ニ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
A10	ロ	3360	50	ロ	イ	ハ	イ	イ	ロ	イ	イ

0才～2才 A群 3000以上3300未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
A11	ロ	3180	50	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
A12	ロ	3200	52	イ	ロ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
A13	ロ	3200	53	イ	ロ	ハ	イ	イ	ロ	イ	ロ
A14	ロ	3200	50	イ	イ	ハ	イ	ハ	イ	イ	ロ
A15	ロ	3220	50	イ	ハ	ハ	イ	イ	ロ	ハ	イ
A16	ロ	3050	49	イ	ニ	ハ	イ	イ	ロ	イ	イ
A17	ロ	3200	56	イ	ニ	ハ	ハ	ハ	イ	イ	イ

0才～2才 A群 3000未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
A18	イ	2900	50	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
A19	イ	2300	50	イ	ト	ハ	イ	ハ	イ	ハ	ニ
A20	ロ	2900	49	イ	ハ	ハ	イ	イ	ロ	イ	イ
A21	ロ	2850	49	ロ	ロ	ハ	イ	イ	ロ	ロ	ロ

◎ 0才～2才 B群 (57名) の結果

0才～2才 B群 3300以上

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
B 1	ハ	3580	55	イ	ロ	イ	イ	ハ	イ	ロ	イ
B 2	ロ	3980	50	イ	ヘ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B 3	ロ	3500	50	イ	ハ	イ	イ	イ	イ	ハ	イ
B 4	ロ	3400	50	イ	ホ	ハ	イ	ロ	ロ	ハ	ハ
B 5	ロ	3300	51	イ	ハ	ハ	イ	イ	ロ	イ	ハ
B 6	ロ	3300	51	イ	ロ	ハ	イ	イ	ロ	イ	イ
B 7	ロ	3300	50	イ	ハ	ハ	イ	イ	ロ	イ	イ
B 8	ロ	3300	52	イ	ハ	ハ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B 9	ロ	3300	52	イ	ハ	ハ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B10	ロ	3350	53	イ	ニ	ハ	ハ	ハ	イ	ハ	イ
B11	ロ	3700	54	イ	ヘ	ハ	ハ	イ	ロ	ロ	イ
B12	ロ	3500	55	イ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	ハ
B13	ロ	3950	50	イ	ニ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B14	ロ	3750	50	イ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B15	ロ	3500	50	ハ	ロ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B16	ロ	3750	55	ハ	ロ	ハ	イ	ハ	イ	ハ	イ

0才～2才 B群 3000以上3300未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
B17	ロ	3050	51	イ	ニ	イ	イ	ロ	ロ	イ	イ
B18	ロ	3000	49	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B19	ロ	3250	49	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
B20	ロ	3230	50	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
B21	ロ	3080	50	イ	ロ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
B22	ロ	3000	49	イ	ヘ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
B23	ロ	3180	52	イ	ヘ	イ	イ	イ	ロ	イ	ハ
B24	ロ	3120	50	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	イ	ハ
B25	ロ	3210	50	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	イ	ハ
B26	ロ	3000	52	イ	ロ	イ	イ	イ	イ	ハ	イ
B27	ロ	3200	52	イ	ヘ	イ	イ	イ	イ	イ	ハ
B28	ロ	3200	50	イ	ニ	イ	ハ	イ	イ	イ	イ
B29	ロ	3200	50	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	イ	イ
B30	ロ	3260	50	イ	ヘ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B31	ロ	3100	49	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B32	ロ	3010	50	イ	ロ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B33	ロ	3000	50	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B34	ロ	3100	51	イ	ハ	ハ	ハ	ロ	イ	ハ	イ
B35	ロ	3200	51	イ	ハ	ハ	ハ	ロ	イ	ハ	イ
B36	ロ	3000	50	イ	ト	ロ	ロ	イ	ロ	ハ	イ
B37	ロ	3160	58	イ	ニ	ロ	ロ	イ	ロ	イ	ハ
B38	イ	3000	50	イ	ロ	ロ	イ	ハ	ロ	イ	イ
B39	ロ	3000	50	ハ	ロ	イ	ハ	イ	ロ	イ	イ
B40	ロ	3150	50	ハ	ハ	ロ	ロ	イ	ロ	イ	イ

0才～2才 B群 3000未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
B41	イ	2460	46	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
B42	ロ	2860	52	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
B43	ロ	2800	50	イ	ハ	ハ	イ	イ	ロ	イ	イ
B44	ロ	2960	51	イ	ロ	ハ	イ	イ	ロ	イ	ロ
B45	ロ	2900	51	イ	ロ	ハ	ハ	イ	ロ	イ	ロ
B46	ロ	2800	50	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B47	ロ	2800	48	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B48	ハ	2800	42	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B49	ロ	2950	50	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B50	ロ	2750	47	イ	ニ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B51	イ	2460	46	イ	ヘ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B52	ロ	2600	50	イ	イ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ
B53	ロ	2900	51	イ	ハ	ロ	ロ	イ	ロ	ハ	イ
B54	ロ	2680	49	イ	ハ	ロ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B55	ロ	2800	50	イ	ロ	ロ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B56	イ	2300	50	ロ	ロ	イ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
B57	ロ	2880	50	ロ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ

◎ 0才～2才 C群 (49名) の結果

0才～2才 C群 3300以上

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
C1	ロ	3400	55	イ	ニ	イ	イ	イ	イ	ハ	ロ
C2	ロ	3340	51	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C3	ロ	3700	55	イ	ロ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C4	ロ	3540	50	イ	ホ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C5	ロ	3400	50	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C6	ロ	3600	51	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
C7	ロ	3540	53	イ	ニ	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
C8	ロ	3460	51	イ	ヘ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C9	ロ	3410	50	イ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C10	ロ	3520	53	イ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C11	ロ	3400	50	ハ	ニ	ハ	ロ	イ	ロ	ハ	イ
C12	ロ	3820	50	ロ	ハ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C13	ロ	3400	54	ロ	ニ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ

0才～2才 C群 3000以上3300未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
C14	ロ	3000	50	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C15	ロ	3150	49	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
C16	ロ	3200	58	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
C17	ロ	3160	49	イ	ト	イ	イ	イ	イ	ハ	イ
C18	ロ	3000	51	イ	ニ	イ	イ	イ	イ	ハ	ロ
C19	ロ	3160	51	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
C20	ロ	3080	50	イ	ホ	イ	ハ	イ	ロ	イ	イ
C21	ロ	3000	51	イ	ロ	ハ	ハ	イ	ロ	イ	イ
C22	ロ	3200	50	イ	ニ	ハ	ハ	イ	ロ	イ	イ
C23	ロ	3060	55	イ	ハ	ハ	ハ	イ	ロ	イ	ロ
C24	ロ	3180	48	イ	ハ	ハ	ハ	ハ	ロ	イ	ロ
C25	ロ	3100	50	イ	ハ	ハ	ハ	ハ	イ	イ	ハ
C26	ロ	3000	50	イ	ニ	ハ	ハ	ハ	イ	イ	ハ
C27	ロ	3120	49	イ	ロ	ハ	ハ	ロ	ロ	イ	イ
C28	ロ	3000	48	イ	ニ	ハ	ハ	ロ	ロ	イ	イ
C29	ロ	3000	50	イ	ニ	ハ	ロ	ロ	イ	イ	ロ
C30	ロ	3200	50	イ	ハ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	イ
C31	ロ	3000	50	イ	ハ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	ハ
C32	ロ	3100	52	イ	ヘ	ハ	ロ	イ	イ	ロ	ハ
C33	ロ	3080	50	イ	ニ	ハ	ロ	イ	ハ	イ	ハ
C34	ロ	3000	47	イ	ロ	ハ	ロ	イ	ロ	イ	ハ
C35	ロ	3200	50	ハ	ハ	ト	イ	ハ	ロ	イ	イ
C36	ロ	3100	48	ハ	ハ	ト	イ	ハ	ロ	ロ	イ
C37	イ	3200	50	ハ	ホ	ハ	イ	イ	ロ	ハ	イ

0才～2才 C群 3000未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
C38	ロ	2650	50	イ	ハ	イ	イ	イ	イ	ハ	イ
C39	ロ	2920	55	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	イ	イ
C40	ロ	2680	48	イ	ハ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
C41	ロ	2945	49	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	ロ	ニ
C42	ロ	2990	48	イ	ト	ハ	ハ	イ	ロ	ハ	イ
C43	イ	2500	48	イ	ハ	ハ	ハ	ハ	ロ	ハ	イ
C44	ハ	2900	50	イ	ハ	ハ	ハ	ロ	イ	イ	イ
C45	ロ	2950	58	イ	ニ	ハ	ハ	イ	イ	ハ	ハ
C46	ロ	2900	52	イ	ロ	ハ	ハ	イ	ロ	イ	ハ
C47	ロ	2900	49	イ	ニ	ハ	ロ	イ	ロ	ハ	イ
C48	ロ	2700	51	イ	ハ	ト	ロ	ロ	イ	イ	ハ
C49	ロ	2350	47	ハ	ト	ロ	イ	ロ	ロ	イ	ハ

◎ 0才～2才 D・E群 (12名) の結果

0才～2才 D・E群 3300以上

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
D・E1	ロ	3800	50	イ	ニ	イ	イ	イ	ロ	ハ	イ
D・E2	ロ	3800	50	イ	ニ	ハ	イ	イ	ロ	ロ	ハ
D・E3	ロ	3500	45	ハ	ニ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	イ
D・E4	ロ	3320	53	イ	ニ	ハ	ハ	イ	イ	イ	イ

0才～2才 D・E群 3000以上3300未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
D・E5	ロ	3200	50	ロ	ヘ	イ	イ	イ	ロ	イ	ハ
D・E6	ロ	3200	50	イ	ニ	ハ	イ	イ	ロ	ハ	イ
D・E7	ロ	3110	49	イ	ト	ハ	ハ	ロ	イ	イ	イ

0才～2才 D・E群 3000未満

番号	1	2-イ	2-ロ	3	4	5	6	7	8	9	10
D・E8	ロ	2900	51	ハ	ハ	イ	イ	ハ	ロ	イ	イ
D・E9	ロ	2900	49.5	イ	ホ	イ	ロ	イ	ロ	イ	ハ
D・E10	ロ	2750	50	イ	ハ	イ	ロ	ロ	イ	イ	ロ
D・E11	ロ	2900	50	イ	ト	ハ	イ	イ	イ	ハ	イ
D・E12	ロ	2800	48	イ	ホ	ハ	ハ	イ	イ	イ	ロ